

## 『データ利活用のパターンとビジネス着想(グループ演習有)』 研修概要のご案内

### ■ 本研修の内容

#### (1) デジタルトランスフォーメーション(DX)と AI について：

あらゆる産業において、爆増するデータに対して新たなデジタル技術を活用し、これまでにないビジネス・モデルを創出する動きが加速しています。こうしたデジタル技術を使ってビジネスを改革する動きをデジタルトランスフォーメーション（DX）と呼びます。今回の研修では、具体的に業務の中で DX を実現していく(変化を起こす)ための、アイデア創出に取り組んで頂きます。アイデアを出すだけに留まらず、デジタルデータを具体的にどう活用していくか、どう変化につなげるか、具体的な計画に落とし込むところまでを、グループディスカッションも交えながら体験頂きます。

#### (2) パターン着想

世の中の DX 事例や AI 活用事例は、その仕組みを抽象的に捉え直すことで、新たな着想のフレームワークとして活用できます。本コースでは、フレームワークを活用して、自らのビジネスの DX 化を検討するアイデア着想をトレーニングします。今回のコースでは、単に着想で終わらず、AI 化するために必要なインプット・アウトプットの具体化や、プロジェクトの計画の仕方も、フレームワークを活用してアイデアを出す演習に取り組んでいただきます。

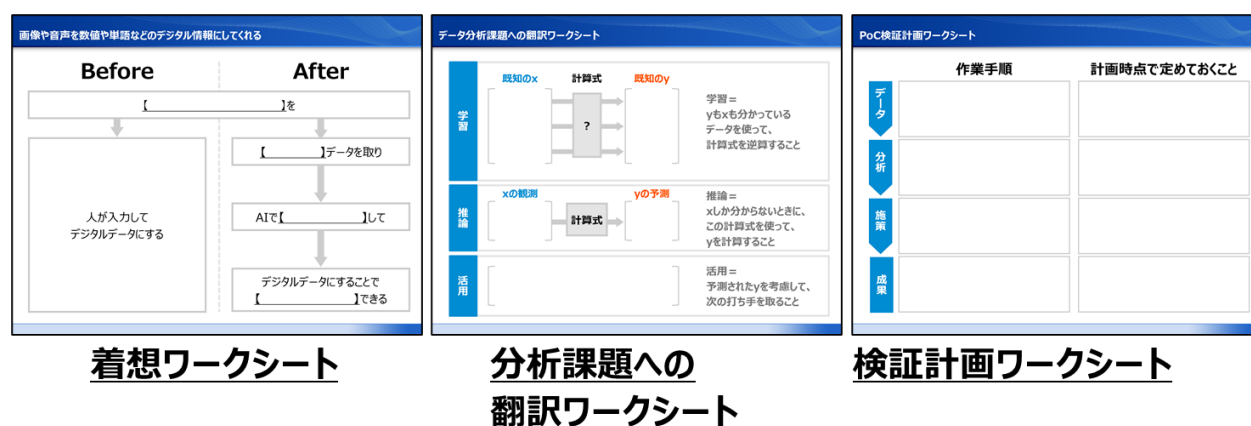
#### (3) 事前課題

事前課題として、着想のフレームワークシートをご受講前に作成いただきます。ご自身の業務課題を事前に整理頂くことで、当日の個人ワークやグループディスカッションを円滑化します。

下記の 3 種のワークシート「着想ワークシート」「分析課題への翻訳ワークシート」「検証計画ワークシート」のうち、少なくとも「着想ワークシート」は、事前に作成をお願いいたします。(多少粗くとも、3 種全ての作成が推奨です)

事前提出はございません。当日グループワークの際に画面共有で説明できるよう、ご準備ください。

ワークシートや具体的な作成手順書は、お申込み頂いた方に別途配布いたします。



## 【成果物イメージ】パターン「手書きの書類の入力業務のAI化」に関する発想トレーニング

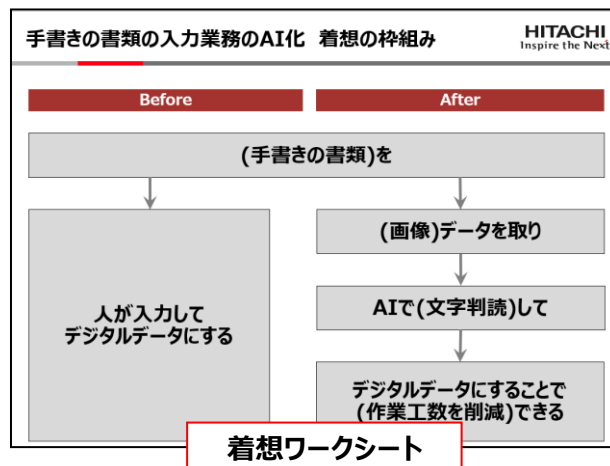
事例を講師がご紹介したあと、抽象化されたパターンを使い、ご自身のビジネスシーンへの適用を考えていただきます。  
また、アイデアをAIの活用に落とし込む具体的なインプット・アウトプットや、プロジェクトとして進めるにあたっての検討事項についても、発想の練習をします。

### Step1 パターン着想(着想ワークシート)

ご自身の業務、お客様の業務などで  
どんなデータを使えば自動化や効率化、短期間化などの  
価値を生み出せるか考えてみましょう



新たなサービス、システム化企画に向けたアイデア

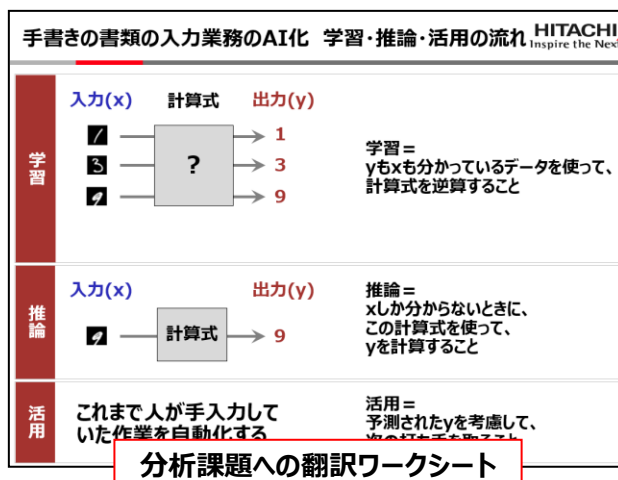


### Step2 分析課題への翻訳(分析課題への翻訳ワークシート)

着想したアイデアを、分析課題として具体化しましょう  
どんなデータを入力して、どんな出力を得るのか、  
を決めて、アイデアのもととなった課題にどのように  
適用していくのかを検討します。



アイデアの具体化(AI化)

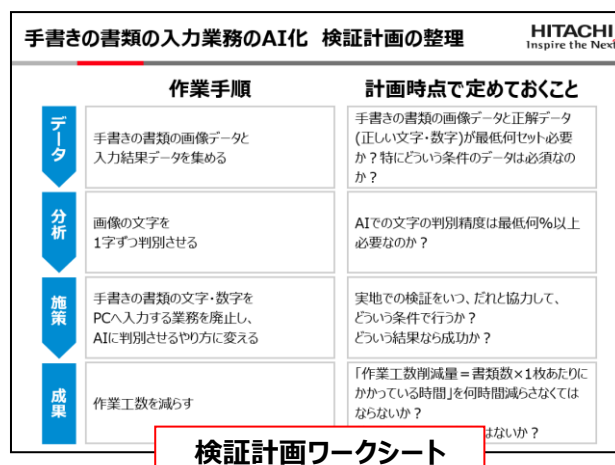


### Step3 検証計画の立案(検証計画ワークシート)

最後に、検証計画に落とし込むことで、  
作業の手順や各ステップでの確認事項、  
計画を見直す条件などを策定します。



プロジェクトの具体化



(4) カリキュラムとタイムスケジュール：

時間	テーマ	内容
13:00～13:15	1. はじめに	研修の目的・成果物イメージ(鹿島建設様)の共有
13:15～13:30	2. 個人ワーク	自身の業務課題を着想ワークシートに落とし込む (事前課題のブラッシュアップ)
13:30～14:00	3. 着想ワークシート共有(グループ演習)	他の受講者と個人ワークの成果物を共有し、ディスカッション
14:00～14:10	休憩	
14:10～14:25	4. 個人ワーク	自身の着想を分析課題への翻訳ワークシートに落とし込む(事前課題のブラッシュアップ)
14:25～14:50	5. 分析課題への翻訳ワークシート共有 (グループ演習)	他の受講者と個人ワークの成果物を共有し、ディスカッション
14:50～15:00	休憩	
15:00～15:15	7. 個人ワーク	自身の分析課題を検証計画ワークシートに落とし込む (事前課題のブラッシュアップ)
15:15～15:40	8. 検証計画ワークシート共有 (グループ演習)	他の受講者と個人ワークの成果物を共有し、ディスカッション。チームの代表者を決める
15:40～16:00	9. クラス発表、まとめ	想定する聞き手を意識した発表で、さらなるブラッシュアップや現場への適用に向けたフィードバックを得る